

成都方言の「兒化」に関する一考察

藤原 優美

A Study on "r-coloring" in the Chengdu Dialect

Yubi FUJIWARA

「兒化」は、中国語において音便現象の1つであり、特に北京方言によく見られ、普通話（共通語）にも取り入れられている。西南官話の中に最も代表的な方言の1つである成都方言にも「兒化」現象がある。しかし、成都方言の「兒化」と普通話（共通語）の「兒化」は、発音においても、兒化可能な語に関しても同じとは限らない。

本論文では、成都方言の「兒化」について考察し、その音便類型、意味、用法などを明らかにしたい、具体的に、普通話（共通語）と対照しながら、母音・音便、兒化詞、意味・用法の順で分析していく。

“r-coloring” is a phonetic phenomena in Chinese. It is especially found in the Beijing dialect and also in Putonghua (Standard Mandarin). The Chengdu dialect, which is one of the most representative dialects of the Southwestern Mandarin, also has the phenomenon of “r-coloring”. However, the “r-coloring” in the Chengdu dialect and in Putonghua (Standard Mandarin) are not necessarily the same in terms, pronunciation and which words use “r-coloring”.

In this paper, I examine the “r-coloring” of the Chengdu dialect, seeking to clarify aspects such as the phonetic typology, meaning, and usage. Specifically, I compare the Chengdu dialect with Putonghua (Standard Mandarin), to concretely analyze the vowel/voices, r-coloring words, meaning and usage.

- I. はじめに
II. 普通話（共通語）および成都方言の兒化韻について

- III. 普通話（共通語）および成都方言の兒化詞について
IV. おわりに

I. はじめに

兒化とは、《現代漢語詞典》によれば、普通話（共通語）と部分方言の中における1つの音便現象である。語末に“儿（簡体字）”を付けながら、単独の音節ではなく、直前の音節とあわせて1音節を構成し、その韻母を卷舌音化するという。つまり、“儿”は接尾辞として、語末に付加するが、単独でerと発音するのではなく、前の韻母と一緒に発音する。そして、その韻母がr音¹のような音色を備えることになる。

例：

単語(簡体字) 花 兒化後 → 花儿 玩 兒化後 → 玩儿
ピンイン² huā → huār wán → wánr
IPA³ [xuɑ⁵⁵]⁴ → [xuɑ⁵⁵]⁵ [wɑ³⁵] → [wɑ³⁵]

キーワード：兒化、成都方言、普通話（共通語）、母音、音便

上記のように、“花(huā)”は兒化後、漢字では“花儿”の二文字に変わるが、発音ではhuā⁵⁵erの二音節ではなく、一音節のままで、huār[xuɑ⁵⁵]になる。また、“玩(wán)”も漢字は“玩儿”という二文字に変わるが、発音は一音節のまま、wánr[wɑ³⁵]になる。なお、兒化による実際の発音変化については、IIで詳しく分析する。

一方、接尾辞として語末に付加し、単独でerと発音する“儿”も存在する。この場合、“儿”は「兒化」ではなく、「兒尾」（曹跃香2004、胡蓬2006、任崇芬1998など）としての働きを果たしている。

例：

単語(簡体字)	鸟儿	月儿
ピンイン	niǎo'er	yuè'er
IPA	[nǰɑ̃ ²¹⁴ ə]	[yɛ ⁵¹ ə]

上記のように、“儿”は実質的な意味を持たず、接尾辞として使われている。そして、“儿”は前の語である“鸟”、“月”の発音と融合させず、単独で発音し、軽声となる。つまり、“鸟”、“月”は兒化せず、“鸟儿”、“月儿”は兒尾詞となる。兒尾も重要な研究項目であるが、兒化と異なるため、本論文の分析対象から除外し、別の機会に譲ることとする。

これまで、「兒化」に関してさまざまな先行研究が行われてきた。主なテーマとして、「兒化韻」と「兒化詞⁶」の2つが挙げられる。一方、兒化は北京方言の顕著な特徴の1つであるため、先行研究にも北京方言に関するもの、特に音韻論・音声学から見る北京方言の兒化(平山1959、平井1969、更科1998など)、北京方言兒化の統語機能(王立2001、方梅2007など)といったものが多い。

成都方言兒化に関する先行研究の数は限られているが、鄭有儀(1987)、陽紹林(2002)、覃洲(2017)などが挙げられる。鄭(1987)では、兒化韻と兒化詞について北京方言、成都方言、重慶方言を比較し、それぞれ兒化韻や兒化詞の数や規則が違うこと、成都方言や重慶方言より北京方言の単音節兒化詞が多く、成都方言と重慶方言の重迭兒化詞・多音節兒化詞が多いことなどを指摘した。しかし、実際の比較においては、北京方言ではなく、普通話(共通語)をその代わりに使用したり、成都方言と重慶方言はセットで取扱ったりするなど、比較は必ずしも厳密とは言えない。楊(2002)では、成都方言と普通話(共通語)における兒化韻の発音を比較し、その結果に基づいて、今後の普通話(共通語)口頭試験の兒化韻正誤判定にいくつかの示唆を行った。しかし、成都方言兒化韻の分類に関して、ほかにも検討すべきものがある。例えば“蝸蝸儿”、“小熊儿”がそれぞれur、ürに分類されているが、成都方言には、“蝸蝸儿”という単語がない、また“熊”も兒化しない。覃(2017)では、接尾辞という視点から成都方言の兒尾と兒化を考察し、“儿”は接尾辞として、語の構成要素で、感情を表す役割を果たしていると述べた。特に、“AA儿”は成都方言において普遍的な意義を持ち、名詞形式の標記であることも指摘した。しかし、日常生活の語彙からすると、例えば、“歪

歪儿货(質がよくない物、にせもの)”の場合、“歪歪儿”は“AA儿”という形に当てはまるが、名詞ではなく、形容詞である。“歪”自体も形容詞要素として用いられている。

したがって、成都方言の兒化についてより正確に分析する必要がある。また、方言保護という視点からも成都方言を研究する価値がある。本論文では、先行研究の成果及び問題点を踏まえながら、成都方言の兒化を研究し、その音便類型、意味、用法などを明らかにしたい。具体的には、母音・音便、兒化詞、意味・用法の順で分析していく。一方、現代成都方言が使用・記載されている文献が少ないため、初歩的分析研究において広く使われている成都方言の辞書を対象とした。中国四川省社会科学院出版の《成都话方言词典》(1987)は古代書、地方誌、四川出身作家の作品、四川地方劇資料、新聞、成都人の日常会話などから常用語を4000余り収録している。言語学・社会学等の研究はもちろん、漢語史・成都方言および四川の民俗に関する研究にも役に立つと梁徳曼⁷氏によって高く評価されている書籍である。本論文では《成都话方言词典》(1987)にあるすべての兒化詞を抽出し、それらの語を通して、成都方言の兒化現象の実態について考察する。なお、兒化詞の抽出方法及び基準については、以下の通りとなる。

《成都话方言词典》(1987)の索引は2種あり、文字の画数を基準に、少ないものから配列したリスト“笔画检字表”と、単語の1文字目のピンインを基準に、アルファベット順に配列したリスト“音序检词表”である。前者に配列されたものは1文字1文字となっているが、後者は辞書に収録された語をすべて語単位で掲載されている。そのため、本論文では後者の“音序检词表”を使用した。

抽出する際、まずは“儿”の付いた単語をすべて取り出し、見出し語に載っているピンインと対照をした。単語にある“儿”の発音が前の文字の発音と融合し、一音節になるもののみ兒化詞と見なす。例えば、“巴片儿 bā pièr”の場合、“儿”は前の“片”の発音と融合させ、一音節のpièrになっているため、“巴片儿”は兒化詞である。“扯羊儿风 cǎ yáng ěr fēng”の場合、“羊”と“儿”の発音は融合せず、それぞれ yáng と ěr なので、“扯羊儿风”は兒化詞ではない。

以上のように、本論文は《成都话方言词典》(1987)

にあるすべての兒化詞を抽出した。計 380 語である。

II. 普通話（共通語）および成都方言の兒化韻について

I で述べたように、兒化は通常、韻母が音便することを指す。その卷舌音が起こった韻母のことを「兒化韻」という。特徴は元の韻母の後ろに r を加えることである。例えば、“花 (huā)” は兒化後、“花儿 (huār)” になり、その uar は兒化韻と見なす。

1. 普通話（共通語）における兒化韻

普通話（共通語）の韻母は、ピンインだけを見れば、単母音 (a, o, e, i, u, ü, er) 7 つ、複母音 (ai, ei, ao, o u, ia, ie, ua, uo, üe, iao, iou, uai, uei) 13 個、鼻母音 (an, ian, uan, üan, en, in, uen, ün, ang, iang, uang, eng, ing, uen g, ong, iong) 16 個からなるが、実際の発音においては、単母音は 10 個 a, o, e, ê, i, u, ü, -i (前), -i (後), er になる。つまり、ê, i (前), -i (後) が含まれている。

具体的には、ê は e と区別してあり、e ([ɤ]) は“饿 (è [x⁵¹])”、“哥 (gē [k x⁵⁵])” などのように使われているが、ê ([ɛ]) は語気詞“欸 (または、诶)” だけであるが、複母音の ie ([jɛ]), üe ([qɛ]) にも見られる。

一方、i ([i]) は“一 (yī [ji⁵⁵])”、“比 (bǐ [pi²¹⁴])” のように使われているが、-i (前) ([ɿ]) は声母 z, c, s の後で使用される。例えば、“自 (zì [tsɿ⁵¹])”、“丝 (sī [sɿ⁵⁵])” など。-i (後) ([ʅ]) は声母 zh, ch, sh, r の後で用いる。例えば、“吃 (chī [tʂʰ⁵⁵])”、“日 (rì [ʂʰ⁵¹])” など。

上記、単母音 7 つ、複母音 13 個、鼻母音 16 個に、ê, i (前), -i (後) を加え、計 39 個の韻母に対して、理論上、卷舌音である er および単独として使用できる語が 1 つだけの ê 以外、ほかの韻母はすべて兒化することができる。普通話（共通語）の兒化韻は大きく「韻母が音便化しない」と「韻母が音便化する」の 2 種類に分けられる (魯允中 2001:88 など)。

① 韻母が音便化しない

韻母が a, o, e, u, ia, ua, uo, ao, iao, ou, iou, ie, üe の場合、直接兒化することができる。つまり、その母音の発音に続いて舌先をそりあげる。

- 例：a → ar 那 [na⁵¹] → 那儿 [nɑ⁵¹]
 o → or 坡 [p^ho⁵⁵] → 坡儿 [p^hɔ⁵⁵]
 e → er 歌 [kɤ⁵⁵] → 歌儿 [kɔ⁵⁵]

- u → ur 水珠 [ʂu⁵⁵] → 水珠儿 [ʂur⁵⁵]
 ia → iar 芽 [ja³⁵] → 芽儿 [ja³⁵]
 ua → uar 画 [xwa⁵¹] → 画儿 [xwɑ⁵¹]
 uo → uor 火锅 [kwo⁵⁵] → 火锅儿 [kwɔ⁵⁵]
 ao → aor 刀 [taɔ⁵⁵] → 刀儿 [tɑɔ⁵⁵]
 iao → iaor 鸟 [njaɔ²¹⁴] → 鸟儿 [njaɔ²¹⁴]
 ou → our 狗 [koɔ²¹⁴] → 狗儿 [ko²¹⁴]
 iou → iour 酒 [tejoɔ²¹⁴] → 酒儿 [tejoɔ²¹⁴]
 ie → ier 台阶 [teje⁵⁵] → 台阶儿 [teje⁵⁵]
 üe → üer 月 [qe⁵¹] → 月儿 [qe⁵¹]

② 韻母が音便化する

a. 韻母は i, ü の場合、もとの韻母に er を付け加えて発音する。

- 例：i → ir 旗 [te^hi³⁵] → 旗儿 [te^hiɑ³⁵]
 ü → ür 鱼 [y³⁵] → 鱼儿 [yɑ³⁵]

b. 韻母は -i (前), -i (後) の場合、この韻母の発音を er に変える。

- 例：-i (前) → ir 字 [tsɿ⁵¹] → 字儿 [tsɑ⁵¹]
 -i (後) → ir 事 [ʂɿ⁵¹] → 事儿 [ʂɑ⁵¹]

c. 韻母の韻尾⁸に i か n (in, ün 除外) がある場合、その韻尾を切り捨て、韻腹⁹の発音をするのと同時に舌先をそりあげる。

- 例：ai → ar 小孩 [xai³⁵] → 小孩儿 [xɑ³⁵]
 ei → er 味 [wei⁵¹] → 味儿 [wɑ⁵¹]
 uai → uar 块 [k^hwai⁵¹] → 块儿 [k^hwɑ⁵¹]
 uei → ur 对 [twei⁵¹] → 对儿 [twɑ⁵¹]
 an → ar 铲 [tʂ^han²¹⁴] → 铲儿 [tʂ^hɑ²¹⁴]
 ian → iar 烟 [jæn⁵⁵] → 烟儿 [jɑ⁵⁵]
 uan → uar 弯 [wan⁵⁵] → 弯儿 [wɑ⁵⁵]
 üan → üar 圈 [te^hqæn⁵⁵] → 圈儿 [te^hqɑ⁵⁵]
 en → er 本 [pən²¹⁴] → 本儿 [pɑ²¹⁴]
 uen → ur 棍 [kwən⁵¹] → 棍儿 [kwɑ⁵¹]

d. 韻母は in, ün の場合、n を切り捨て、i や ü の後に er を付け加えて発音する。

- 例：in → ir 印 [in⁵¹] → 印儿 [iɑ⁵¹]
 ün → ür 裙 [te^hyn³⁵] → 裙儿 [te^hiɑ³⁵]

e. 韻尾は ng (ing 除外) の場合、ng を切り捨て、韻腹を発音すると同時に舌先をそりあげる。

- 例：ang → ar 药方 [faŋ⁵⁵] → 药方儿 [fɑ⁵⁵]
 uang → uar 窗 [tʂ^hwaŋ⁵⁵] → 窗儿 [tʂ^hwɑ⁵⁵]
 eng → er 缝 [fɛŋ⁵¹] → 逢儿 [fɑ⁵¹]
 ueng → ur 瓮 [wɛŋ⁵¹] → 瓮儿 [wɑ⁵¹]
 ong → or 空 [k^hɔŋ⁵¹] → 空儿 [k^hɔ⁵¹]
 iong → ior 小熊 [ɛqɔŋ³⁵] → 小熊儿 [ɛqɔ³⁵]

f. 韻母は ing の場合、韻尾の ng を切り捨て、韻腹の後に er を付け加えて発音する。

例 : ing → ir 瓶 [p^hiŋ³⁵] → 瓶儿 [p^hiɔ̃³⁵]

さらに、上記の韻母の音便を児化韻によって分類すると、以下の9種類になる。

- ① ar[ɑ] 韻母は a, ai, an, ia, ian, ua, uai, uan, üan の場合
- ② er[ɤ] 韻母は e, -i (前), -i (後), ei, en, i, ie, in, uei, uen, üe, ü, ün の場合
- ③ or[ɔ] 韻母は o, uo の場合
- ④ ur[ʊ] 韻母は u の場合
- ⑤ aor [aɔ] 韻母は ao, iao の場合
- ⑥ our[ɔʊ] 韻母は ou, iou の場合
- ⑦ ār[ã] 韻母は ang, iang, uang の場合
- ⑧ êr[ɛ̃] 韻母は eng, ing, ueng の場合
- ⑨ ūr[ʊ̃] 韻母は iong, ong の場合

2. 成都方言の児化韻

成都方言は中国語北方方言系統に属し、西南官話の中で代表的な方言の1つである。成都方言の特徴として、最も知られているのは、zh, ch, sh の発音は z, c, s になっていること。つまり、zh, ch, sh は成都方言においては反り舌音ではない。また、r は成都方言で [ʐ] と発音するため、反り舌音ではない。一方、成都方言には児化現象が見られる。日常生活において、成都の人々は、蒜苗儿 (葉にんにく)、下巴儿 (顎)、后跟儿 (かかと)、这儿 (ここ)、那儿 (そこ)、あそこ) などの単語を使用している。しかし、児化現象があるといっても、普通話 (共通語) における児化とは必ずしも同じとは限らない。むしろ、異なる点が多いであろう。まず、成都方言の韻母は 36 個である。具体的には、普通話 (共通語) にある e, -i (後), uo, ing, eng, ueng の 6 つがないが、普通話 (共通語) にはない iai, uê, üo の 3 つが韻母となっている。《成都話方言詞典》(1987) にあるすべての児化詞、計 380 語のうち代表的なものを各韻母に振り分けると、以下ようになる。

- 1) a 把把儿、半节子么爸儿 など
- 2) o 锅锅儿、鬼灯哥儿 など
- 3) ê 车车儿、这儿 など
- 4) i 刺梨儿、旗旗儿 など
- 5) -i (前) 刺儿
- 6) u 巴壁虎儿、巴唧鼓儿 など

- 7) ü 蚰蚰儿
- 8) ai 蹒蹒儿
- 9) ao 猜猫儿、糕糕儿 など
- 10) an 板板儿鞋、担担儿 など
- 11) ang 肠肠儿、膀膀儿 など
- 12) ia 袂袂儿
- 13) iai なし
- 14) ian 巴片儿、搞起点儿 など
- 15) iang 花姑娘儿、箱箱儿 など
- 16) ou 笆篓儿、鼻头儿 など
- 17) ong 葱葱儿、空空儿 など
- 18) iao 抽条条儿、叫叫儿 など
- 19) ei 杯杯儿、飞飞儿 など
- 20) en 本本儿、别门儿 など
- 21) ie なし
- 22) ua 褂褂儿、豆花儿 など
- 23) uai 歪歪儿货
- 24) uei 吹吹儿、五香嘴儿 など
- 25) uê なし
- 26) uan 弯弯儿、罐罐儿 など
- 27) uen 圆墩儿、滚滚儿 など
- 28) uang 双儿、双双儿
- 29) in 苍蝇儿、磨心儿 など
- 30) iou 牛牛儿、鬃鬃儿 など
- 31) iong なし
- 32) üo 雀雀儿
- 33) üe なし
- 34) ün 裙裙儿
- 35) üan 铺盖卷儿、圈圈儿 など
- 36) er なし

ここからわかるように、《成都話方言詞典》(1987) では、er, ie, uê, üe, iong, iai の児化は見つからなかった。er はもともと卷舌音なので児化できないのに対して、ほかの 5 つについては語数が少ないことが今回の児化が見られない要因の1つだと考えられる。実際に、現在の成都方言母語話者が使用しているかどうかなどは今後の課題としたい。さらに、1~36 を児化韻でまとめると、成都方言の児化韻は 4 種類であることがわかった。

① er[ɤ] 237 語

韻母は a, 一部の o, ê, -i (前), 一部の u, ai, ei, ao, ou, an, en, ang, ong の場合、その韻母を er に変える。

- 例：a → er 把 [pa⁵³] → 把把儿 [pə²¹]
 o → er 哥 [ko⁵⁵] → 鬼灯哥儿 [kə⁵⁵]
 ê → er 车 [ts^hɛ⁵⁵] → 车车儿 [ts^hə⁵⁵]
 -i (前) → er 刺 [ts^hi²¹³] → 刺儿 [ts^hə⁵³]
 u → er 虎 [fu⁵³] → 巴壁虎儿 [fə⁵³]
 a → er 蹚 [pai⁵⁵] → 蹚蹚儿 [pə⁵⁵]
 ei → er 杯 [pei⁵⁵] → 杯杯儿 [pə⁵⁵]
 ou → er 篓 [loʊ⁵⁵] → 笆篓儿 [lə⁵⁵]
 an → er 担 [tan²¹³] → 担担儿 [tə⁵⁵]
 en → er 本 [pən⁵³] → 本本儿 [pə²¹]
 ang → er 肠 [ts^hɑŋ²¹] → 肠肠儿 [ts^hə⁵⁵]
 ong → er 葱 [ts^hoŋ⁵⁵] → 葱葱儿 [ts^hə⁵⁵]

② ir[iə] 61 語

韻母は i, ia, iao, ian, iou, in, iang の場合、その韻母を ir に変える。

- 例：i → ir 旗 [te^hi²¹] → 旗旗儿 [te^hiə⁵⁵]
 ia → ir 袂 [teja²¹³] → 袂袂儿 [teia⁵⁵]
 iao → ir 叫 [tejaʊ²¹³] → 叫叫儿 [teia⁵⁵]
 ian → ir 片 [p^hɛn²¹³] → 片片儿 [p^hiə²¹³]
 iou → ir 鬚 [tejoʊ⁵⁵] → 鬚鬚儿 [teia⁵⁵]
 in → ir 心 [ein⁵⁵] → 磨心儿 [eia⁵⁵]
 iang → ir 箱 [ejaŋ⁵⁵] → 箱箱儿 [eia⁵⁵]

③ ur[uə] 74 語

韻母は一部の u, ua, uan, uei, uen, 一部の o, uang, uai の場合、その韻母を ur に変える。

- 例：u → ur 鼓 [ku⁵³] → 巴唧鼓儿 [kuə⁵³]
 ua → ur 褂 [kwa²¹³] → 褂褂儿 [kuə⁵⁵]
 uan → ur 罐 [kwan²¹³] → 罐罐儿 [kuə⁵⁵]
 uei → ur 吹 [ts^hwei⁵⁵] → 吹吹儿 [ts^huə⁵⁵]
 uen → ur 滾 [kwən⁵³] → 滾滾儿 [kuə²¹]
 o → ur 锅 [ko⁵⁵] → 锅锅儿 [kuə⁵⁵]
 uang → ur 双 [swaŋ⁵⁵] → 双儿 [suə⁵⁵]
 uai → ur 歪 [wai⁵³] → 歪歪儿 [uə²¹] 货

④ ür[qə] 8 語

韻母は ü, üo, üan, ün の場合、その韻母を ür に変える。

- 例：ü → ür 蚰 [te^hy⁵⁵] → 蚰蚰儿 [te^hyə⁵⁵]
 üo → ür 雀 [te^hyo²¹] → 雀雀儿 [te^hyə⁵⁵]
 üan → ür 圈 [te^hqæn⁵⁵] → 圈圈儿 [te^hyə⁵⁵]
 ün → ür 裙 [te^hyn²¹] → 裙裙儿 [te^hyə⁵⁵]

上記の分類から、元の韻母は u, o の場合、兒化韻は er と ur の 2 種類あることがわかる。これは先行研究 (鄭 1987、楊 2002 など) の「u 兒化後 → ur、o 兒化後 → er」といった結論と異なる結果になっている。例に挙げられている「巴壁虎儿」の

“虎儿”は fer[fə⁵³]で、“巴唧鼓儿”の“鼓儿”は guer[kuə⁵³]：“锅锅儿”の“锅儿”は guer[kuə⁵⁵]で、“鬼灯哥儿”の“哥儿”は ger[kə⁵⁵]となる。《成都话方言词典》(1987)にほかの語もあるが、例えば、“亮油壶儿”の“壶儿”は fer[fə²¹]で、“炉炉儿”の“炉儿”は luer[luə⁵⁵]、“豁豁儿”の“豁儿”は huer[xuə⁵⁵]、“布壳儿”の“壳儿”は ker[k^huə²¹]である。u について、“虎”と“壶”は声調が違うが、同じ fu[fu]の発音となり、兒化韻は er である。その他の兒化韻は ur になっているが、元の声母が f であるかどうかに関係する可能性が高い。o に関して、普通話 (共通語) と照らし合わせると、普通話 (共通語) に“锅”と“豁”の韻母は uo で、“哥”と“壳”の韻母は e になる。元の韻母が違うため、兒化のパターンも異なることが推測できるだろう。

Ⅲ 普通話 (共通語) および成都方言の兒化詞について

1. 兒化詞の種類

普通話 (共通語) には、名詞、特に“碟儿”、“碗儿”、“刷儿”、“盆儿”のような単音節の兒化詞が多く見られている。一方、複合語名詞の場合、意味を持つ単音節要素の部分がよく兒化する。例えば、饺子皮儿、名牌儿などがある。“饺子皮儿”は元々“饺子+皮”という組み合わせで、後ろの語素“皮”に“儿”を付けた兒化詞である。つまり、兒化したのは“皮”で、“饺子”は変わっていない。同様に“名牌儿”も“名+牌”という組み合わせで、後ろの語素“牌”に“儿”を付けて、兒化詞になったものである。

成都方言では、単音節兒化詞はそれほど多くない。《成都话方言词典》(1987)の計 380 語には、“伯儿”“刺儿”“墩儿”“哈儿”“猫儿”“妹儿”“双儿”“腾儿”“兔儿”“绉儿”の 10 語しかない。それに対して、二音節の兒化詞がよく見られる。

1) AA+儿：把把儿、膀膀儿、杯杯儿、本本儿、车车儿 など 77 語

また、“AA 儿+B”の形、例えば“车车儿灯”“担担儿面”“钩钩儿针”などや、“B+AA 儿”の形、例えば“草标标儿”“抽条条儿”“打转转儿”などのような兒化詞は 32 語ある。つまり、重ね型の兒化詞は 109 語あることになる。

2) AB+儿：巴片儿、百分儿、鼻头儿、猜猫儿、滴

点儿 など 142 語

このほか、“扮姑姑宴儿”、“扯谎坝儿”、“鸡肠带儿”、“克膝头儿”、“跟斗儿扑爬”などのような、3文字以上の児化詞が119語ある。

品詞から見ると、成都方言の児化詞はほとんど名詞である。“丁丁猫儿”“豆花儿”“脚板儿”“酒杯儿”“盘盘儿”のように、複合語全体は名詞であるものもあれば、“扮姑姑宴儿”“打百分儿”“敲沙罐儿”“跔脚板儿”“逮藏藏猫儿”のように単語自体は動詞である。要素ごとに見ると、児化した部分は名詞となるものもある。つまり、“扮姑姑宴儿”“打百分儿”“敲沙罐儿”“跔脚板儿”“逮藏藏猫儿”は「動詞＋(名詞＋儿)」の形(「扮＋(姑姑宴＋儿)」「打＋(百分＋儿)」「敲＋(沙罐＋儿)」「跔＋(脚板＋儿)」「逮＋(藏藏猫＋儿)」)で、実際の児化詞部分は「名詞＋儿」のため、児化詞も名詞となる。

一方、名詞以外に、少ないながら動詞、量詞、形容詞、副詞もある。

動詞：刺儿、吞儿（不圓）¹⁰

量詞：把把儿、墩儿

形容詞：咪咪儿、歪歪儿（貨）、妖艳儿、亮
 锃锃儿、麻乎乎儿（亮）、绉儿、绉儿
 （黄）

副詞：騰儿

2. 児化の意味・用法

先行研究（鄭1987、魯2001 など）によれば、普通話（共通話）の児化には語の意味や品詞を区別する役割がある。例えば、“头”は頭の意味で、“头儿”はリーダー、首領などの意味になり、“眼”は目の意味で、“眼儿”は小さな穴という意味になる。“画”は書くという意味で動詞であるのに対して、“画儿”は絵の意味で名詞である。“尖”は尖っているという意味で形容詞であるに対して、“尖儿”は先端の意味で名詞である。このように、児化は語の意味や品詞を区別することができる。

また、普通話（共通語）の児化詞には感情を表すこともできる。例えば、“小孩”“脸蛋”をそのまま使う際、客観的に子どもや顔の意味を表すが、“小孩儿”“脸蛋儿”にすれば、話者の親しみや好きといった感情が表せる。

一方、成都方言においても、児化は意味や品詞を区別することができるものの、普通話（共通語）は

ど多くない。意味の区別としては、“七姑娘儿”“老汉儿”“哈儿”などが挙げられる。“七姑娘”であれば、女子の集団にいる七番目の女の子を指すが、“七姑娘儿”はてんとうむしの意味になる。“老汉”であれば、おじいさんや年寄りの男を指すが、“老汉儿”は父親のくだけた言い方である。“哈”は成都方言では、肉や油類のものが長時間放置されて変質し味が変わったことを意味するが、“哈儿”は少し、ちょっとの意味である。品詞の区別に関しては、“绉儿”“騰儿”などが挙げられる。“绉”と“騰”は動詞で、“绉儿”と“騰儿”はそれぞれ形容詞と副詞となる。先行研究（鄭1987 など）では、“飞飞儿”や“吹吹儿”なども品詞を区別する役割の例として挙げられた。確かに、“飞”と“吹”は動詞で、“飞飞儿”と“吹吹儿”は名詞である。しかし、“飞飞儿”と“吹吹儿”は成都方言では単純語、つまり、単一形態素からなり、これ以上小さな単位にわけることのできない語である。そのため、“飞飞儿”は“飞”という動詞から名詞に変わったとは言えない。“吹吹儿”も同様。成都方言の児化詞にはこのような、意味などがすでに固定して、“儿”をとり去ると、使えなくなる語がある。前記のほかに、“丁丁猫儿（トンボ）”“告花儿（乞食）”“火炮儿（パンツ）”“烂眼儿（品行の悪い者）”なども挙げられる。これらの児化詞はすでに固有名詞として使われている。“儿”だけでなく、単語自体は1つの意味を表し、切り離すことができない。成都方言の児化詞には、“儿”をとっても意味や品詞が変わらない語もある。例えば、“盘盘儿（お皿）”“杯杯儿（コップ）”“裙裙儿（スカート）”“果果儿（くだもの）”などは“儿”がなくても意味、用法が変わらない。実際に、“盘盘（お皿）”“杯杯（コップ）”“裙裙（スカート）”“果果（くだもの）”などは日常的に使われている。

また、成都方言の中にある対人呼称の児化（“老汉儿（父親）”“新姑娘儿（新婦）”“老庚儿（同齡）”など）や身体部位名詞の児化（“下巴儿（あご）”“膀膀儿（うで）”“脚板儿（足）”など）などは感情を表す手段の1つだと考えられる。

IV おわりに

本論文では、《成都話方言詞典》にある児化詞を対象として、成都方言児化の音便類型、意味・用法などについて考察した。その結果、以下のことが明

らかになった。

《成都話方言詞典》(1987)にある380語の兒化詞の中、韻母の兒化韻はer[ə],ir[iə],ur[uə],ür[ʊə]の4種類であることがわかった。ただし、韻母er,ie,uê,üe,iong,iaiの兒化は見つからなかった。①韻母はa,一部のo,ê,-i(前),一部のu,ai,ei,ao,ou,an,en,ang,ongの場合、その韻母をer[ə]に変える；②韻母はi,ia,iao,ian,iou,in,iangの場合、その韻母をir[iə]に変える；③韻母は一部のu,ua,uau,uei,uen,一部のo,uang,uaiの場合、その韻母をur[uə]に変える；④韻母はü,üo,üan,ünの場合、その韻母をür[ʊə]に変える。なお、韻母uとoに関しては、それぞれ兒化韻はer[ə]とur[uə]の2種類ある。uの分化原因は元の声母がfであるかどうかに関係する可能性が高い。oに関して、普通話(共通語)と照らし合わせると、普通話(共通語)に韻母はuoの場合は成都方言の兒化韻はu[uə]rになり、韻母はeの場合は成都方言の兒化韻はer[ə]になると推測する。

成都方言の兒化詞については、単音節兒化詞はそれほど多くないが、二音節の兒化詞がよく見られる。“AA+兒”型と“AB+兒”型があるが、特に“AA+兒”は“AA兒+B”型と“B+AA兒”型にも存在している。このほか、3文字以上の兒化詞もある。品詞に関しては、ほとんど名詞になるが、名詞以外に、少ないながら動詞、量詞、形容詞、副詞もある。

兒化詞の意味・用法については、兒化によって意味や品詞を区別する場合がある。ただし、成都方言の兒化詞には、意味などすでに固定して、“兒”をとり去ると使えなくなる語や、“兒”をとっても意味や品詞の変わらない語がある。また、対人呼称の兒化や身体部位名詞の兒化は感情を表す手段の1つだと考えられる。

以上のように、今回は成都方言の兒化の特徴をまとめ、成都方言の兒化の意味や用法についても考察したが、あくまでも《成都話方言詞典》(1987)のデータに基づいたものである。《成都話方言詞典》出版以来30年ほど経っているため、ことばも変わっている。また、普通話(共通語)の普及とともに、成都方言の語彙も影響を受けていると考えられる。今後は成都方言の兒化について、人々は日常生活で実際にどのように発音し、使用しているのかについて調査する必要がある。また、1つの単語に対して異なる兒化現象がいくつかある、例えば、ウサギ肉

のマーラーソース和えという料理に、“兔儿丁”や“兔丁儿”、ないし“兔丁”、“兔儿丁儿”が使われているのはなぜだろうか。その差異や使用する年齢代、地域性にはなにか特徴があるのかについても今後の課題としたい。

注

- 1 母音を調音する際に、そり舌音のように舌尖を反らせたり、舌を盛り上げたりすると、咽頭に狭めが生じ、その狭めによって母音がr音のような音色を備えることをr音性という。
- 2 ピンイン：汉语拼音(Chinese Pinyin、Chinese Phonetic Alphabet)、中華人民共和国が定めた、発音の表記法である。主に普通話(共通語)をローマ字で表したものをいう。
- 3 IPA：国際音声記号(International Phonetic Alphabet)の略称、国際音声学会(International Phonetic Association、これもIPAと略される)が定めたものである。国際音声字母ともいう。
- 4 『中国語の四声は国際音声記号では、一声「1」、二声「1」、三声「1」、四声「V」になるが、見やすさのことを考え、本論文では、直接に四声の調値を書くこととした。つまり、一声[~⁵⁵]、二声[~³⁵]、三声[~²¹⁴]、四声[~⁵¹]という形になる。以下、成都方言においても同じ形式をとるが、調値が異なり、[~⁵⁵][~²¹][~⁵³][~²¹³]となる。
- 5 国際音声記号には、r音性を表す補助記号[ɹ]があり、母音字母の右側に密着して付けられる。例のように、“花儿”のピンイン「huār」は[xuɑɹ⁵⁵]で、“玩儿”のピンイン「wánr」は[wɑɹ³⁵]で表示される。
- 6 兒化詞とは、兒化現象が起こった語のことを指す。
- 7 梁德曼：元中国四川大学教授、言語学者。
- 8,9 中国語の韻母は、介音、主母音、尾音で構成される。韻母の中における部位を表す用語として、介音を韻頭、主母音を韻腹、尾音を韻尾と呼ぶ。
- 10 『辞書に記載されているのは“吞儿不圆”であるが、ここでは“吞儿”の品詞を強調するため、あえてほかの要素“不圆”に括弧をつけた。以下、“歪歪儿(货)”“麻乎乎儿(亮)”“绉儿(黄)”も同様。

参考文献

(1) 日本語

更科慎一 (1998) 「介音, 声調が北京語の兒化韻尾に与える音声の影響」『中国語学』第245号 163-172頁。

平井勝利 (1969) 「北京語における兒化韻母の音価について: 特に声調との関係から」『中国語学』第196号 1-7頁。

平山久雄 (1959) 「北京語の音韻に関する二三問題: 特に主母音とr化について」『言語研究』第35号 31-51頁。

(2) 中国語

曹跃香 (2004) “儿化、儿尾和儿缀等术语在不同平面上之转换使用——兼论“儿”的规范问题”《广播电视大学学报》第3期 101-104頁。

丁崇明, 荣晶 (2011) “汉语方言不同阶段的儿化及儿化韵的整合”《语文研究》第2期 18-22頁。

方梅 (2007) “北京话儿化的形态句法功能”《世界汉语教学》第2期 5-13頁。

胡蓬 (2006) “普通话中儿化词和轻声儿尾词的比较”《焦作师范高等专科学校学报》第22卷第4期 14-17頁。

罗韵希等 (1987) 《成都话方言词典》四川省社会科学院出版社

鲁允中 (2001) 《轻声和儿化》商务印书馆

任崇芬 (1998) “普通话儿尾词两议”《语文建设》第8期 18-19頁。

覃洲 (2017) “成都方言“儿”类后缀探析”《现代汉语(学术综合版)》109-112頁。

王立 (2001) “北京话儿化成分的语义特点及语素身份”《语言文字应用》第4期 47-53頁。

杨绍林 (2002) “成都话与普通话儿化韵发音之比较——兼论普通话水平测试中儿化韵读音正误的判定”《成都师专学报》第21卷第1期 77-81頁。

殷作炎 (1987) “普通话儿尾词的规范化问题”《语文建设》第5期 35-38頁。

俞敏 (1984) “驻防旗人和方言的儿化韵”《中国语文》第5期 346-351頁。

郑有仪 (1987) “北京话和成都话、重庆话的儿化比较”《重庆师院学报》67-71頁。

付録《成都话方言词典》に記載されている兒化詞

1 巴片儿	43 城门洞儿
2 巴壁虎儿	44 吃巴片儿
3 巴唧鼓儿	45 刺儿
4 笆篓儿	46 刺梨儿
5 把把儿	47 葱葱儿
6 蹉蹉儿	48 虫虫儿
7 扳本儿	49 抽条条儿
8 板眼儿	50 串串儿
9 板板儿鞋	51 吹吹儿
10 半节子么爸儿	52 縫縫儿
11 蹉脚板儿	53 打百分儿
12 蹉脚板儿劲	54 打黑摸儿
13 扮姑姑宴儿	55 打迷头儿
14 膀膀儿	56 打心锤儿
15 刨花儿脑壳	57 打转转儿
16 白眼仁儿	58 打红脸蛋儿
17 百分儿	59 打麻乎眼儿
18 伯儿	60 打麻子眼儿
19 杯杯儿	61 逮藏藏猫儿
20 本本儿	62 担担儿
21 鼻头儿	63 担担儿面
22 边花儿	64 当磨心儿
23 别门儿	65 档档儿
24 别火炮儿	66 刀刀儿
25 冰粉儿	67 道道儿
26 布壳儿	68 凳凳儿
27 吞口儿	69 滴点儿
28 猜猫儿	70 地瓜儿
29 蚕妞儿	71 地转转儿
30 搓板儿	72 弟娃儿
31 搓牛牛儿	73 点点儿
32 苍蝇儿	74 钉锤儿
33 苍蝇儿屎	75 丁丁猫儿
34 肠肠儿	76 定心汤圆儿
35 操妹儿	77 冻包儿
36 草标标儿	78 豆豆儿
37 车车儿	79 豆花儿
38 车车儿灯	80 短膀膀儿
39 扯嚼顿儿	81 墩儿
40 扯谎坝儿	82 方方儿
41 扯指拇儿	83 飞飞儿
42 扯指头儿	84 飞蛾儿

85	肺片儿	129	豁豁儿	173	扣扣儿	217	毛豆角儿
86	粪档儿	130	火炮儿	174	口水兜兜儿	218	毛根儿朋友
87	风筝儿	131	火汗褙儿	175	垮杆儿	219	蠓蚊儿
88	风风儿	132	烘笼儿	176	那哈儿	220	闷呆儿
89	封封儿	133	餲包儿	177	奶妈儿	221	门洞儿
90	桴渣儿	134	餲包儿病	178	奶娃儿	222	门头儿
91	壶壶儿	135	猴孙儿	179	癩毛儿	223	门坎汉儿
92	胡豆瓣儿	136	吼班儿	180	癩头儿	224	妹儿
93	乌猫儿皂狗	137	花颈儿	181	癩蚰蚂儿	225	妹娃儿
94	五香嘴儿	138	花姑娘儿	182	篮篮儿	226	眯眯眼儿
95	街娃儿	139	黄马褂儿	183	烂杆儿	227	咪咪儿
96	盖碗儿茶	140	黄水猫儿	184	烂眼儿	228	摸哥儿
97	高蹬蹬儿	141	灰灰儿	185	烂包儿田	229	摩登儿红
98	高一蔑片儿	142	鸡娃儿	186	烂杂物儿	230	末末儿
99	搞起点儿	143	鸡肠带儿	187	躄巴儿	231	木偶偶儿
100	告花儿	144	鸡毛店儿	188	躄指拇儿	232	木肘肘儿
101	糕糕儿	145	家门儿	189	醪糟儿	233	嗲猫儿
102	疙疤儿	146	夹背儿	190	醪糟儿浮子	234	拈字眼儿
103	隔哈儿	147	夹窝儿	191	老庚儿	235	牛牛儿
104	跟斗儿扑爬	148	夹舌头儿	192	老汉儿	236	钮门儿
105	锅锅儿	149	夹肢窝儿	193	老鸪鸪儿	237	樱桃儿
106	锅摊儿	150	袂袂儿	194	脑花儿	238	鸚鸚儿
107	果果儿	151	茧壳儿	195	闹官儿	239	蛾蛾儿
108	裹裹儿	152	僵疤儿	196	链链儿	240	牌牌儿
109	裹兜儿	153	叫叫儿	197	脸巴儿	241	盘盘儿
110	个个儿	154	藟头儿脸	198	脸包儿骨	242	襟襟儿
111	沟沟儿	155	接鸡下巴儿	199	亮油壶儿	243	偏毛根儿
112	钩钩儿针	156	髹髹儿	200	亮镲镲儿	244	瓢羹儿
113	钩钩儿鼻子	157	酒杯儿	201	凌冰儿	245	漂嘴儿
114	姑娘儿	158	酒罐罐儿	202	络猴儿	246	铺盖卷儿
115	褂褂儿	159	酒窝窝儿	203	龙头儿	247	扑爬跟斗儿
116	光膀膀儿	160	舅母儿	204	炉炉儿	248	脐带儿
117	光脚板儿	161	橘柑儿	205	麻蝇儿	249	旗旗儿
118	鬼板眼儿	162	肫肝儿	206	麻乎乎儿亮	250	骑叉口儿
119	鬼灯哥儿	163	脚板儿	207	蚂蚁儿	251	七姑娘儿
120	柜柜儿	164	脚板儿心	208	满满个个儿	252	恰尿水儿
121	滚滚儿	165	脚指拇儿	209	慢哈儿	253	腔口儿
122	根根儿	166	开山儿	210	盲娃儿	254	翘跟儿
123	哈儿	167	看门头儿	211	盲大汉儿	255	蚰蚂儿
124	哈哈儿	168	看笑神儿	212	猫儿	256	青蚰蚂儿
125	哈宝儿	169	敲敲儿利	213	猫儿猫儿	257	青头儿包
126	汗褙儿	170	敲沙罐儿	214	猫儿洗脸	258	磬捶儿
127	巷巷儿	171	克膝头儿	215	猫儿毛不正	259	丘八儿
128	毫毫儿	172	空空儿	216	毛根儿	260	蚰蚰儿

- | | | | | | |
|-----|-------|-----|-------|-----|-------------|
| 261 | 圈圈儿 | 305 | 歪歪儿货 | 349 | 鱼泡儿 |
| 262 | 缺嘴儿 | 306 | 外孙儿 | 350 | 沿条儿 |
| 263 | 裙裙儿 | 307 | 豌豆儿 | 351 | 月窝儿 |
| 264 | 雀雀儿 | 308 | 豌豆颠儿 | 352 | 杂拌儿 |
| 265 | 曲蟥儿 | 309 | 豌豆尖儿 | 353 | 栽迷头儿 |
| 266 | 沙眼儿 | 310 | 尾巴儿 | 354 | 毡窝儿帽 |
| 267 | 鞞板儿鞋 | 311 | 蚊烟儿 | 355 | 颤花儿 |
| 268 | 鞞片儿鞋 | 312 | 媳妇儿 | 356 | 账狗儿 |
| 269 | 桑果儿 | 313 | 虾猫儿胡子 | 357 | 这儿不生肌，那儿不告口 |
| 270 | 桑泡儿 | 314 | 下巴儿 | 358 | 慈菇儿 |
| 271 | 苔果儿 | 315 | 线线儿 | 359 | 纸烟儿金 |
| 272 | 扫扫儿 | 316 | 香签棍儿 | 360 | 纸飞飞儿 |
| 273 | 舌头儿 | 317 | 香香棍儿 | 361 | 指拇儿 |
| 274 | 齜味儿 | 318 | 乡巴佬儿 | 362 | 指甲儿 |
| 275 | 神头儿 | 319 | 箱箱儿 | 363 | 翅膀儿 |
| 276 | 剩八味儿 | 320 | 响篙儿 | 364 | 坐墩儿 |
| 277 | 死巷巷儿 | 321 | 相头儿 | 365 | 坐墩儿肉 |
| 278 | 尿卮烟儿 | 322 | 小娃儿 | 366 | 中指拇儿 |
| 279 | 四指拇儿 | 323 | 小接媳妇儿 | 367 | 盅盅儿 |
| 280 | 锁洞洞儿 | 324 | 星星儿 | 368 | 帚帚儿 |
| 281 | 锁扣眼儿 | 325 | 新姑娘儿 | 369 | 珠珠儿 |
| 282 | 手板儿 | 326 | 新郎官儿 | 370 | 猪拱嘴儿 |
| 283 | 手膀膀儿 | 327 | 绉儿 | 371 | 抓子儿 |
| 284 | 手板儿心 | 328 | 绉儿黄 | 372 | 爪手儿 |
| 285 | 手指拇儿 | 329 | 信封封儿 | 373 | 纂纂儿 |
| 286 | 输光头儿 | 330 | 朽杆儿 | 374 | 转转儿 |
| 287 | 摔跟头儿 | 331 | 瞌瞌眼儿 | 375 | 转糖饼儿 |
| 288 | 双儿 | 332 | 旋旋儿 | 376 | 转转儿会 |
| 289 | 双双儿 | 333 | 血旺儿 | 377 | 装猫儿识象 |
| 290 | 水痘儿 | 334 | 熊猫儿 | 378 | 桡片儿 |
| 291 | 摊摊儿 | 335 | 丫巴儿 | 379 | 瓢毛儿 |
| 292 | 坛坛儿 | 336 | 丫头儿 | 380 | 戏脸壳儿 |
| 293 | 炭花儿 | 337 | 檐老鼠儿 | | |
| 294 | 炭圆儿 | 338 | 秧秧儿 | | |
| 295 | 吞儿不圆 | 339 | 样分儿 | | |
| 296 | 腾儿 | 340 | 样样儿 | | |
| 297 | 调羹儿 | 341 | 么姑儿 | | |
| 298 | 贴心豆瓣儿 | 342 | 么指拇儿 | | |
| 299 | 拖板儿鞋 | 343 | 妖艳儿 | | |
| 300 | 驼背儿 | 344 | 野猫儿 | | |
| 301 | 桶桶儿 | 345 | 一哈儿 | | |
| 302 | 兔儿 | 346 | 一哈哈儿 | | |
| 303 | 推屎爬儿 | 347 | 油蚱蜢儿 | | |
| 304 | 腿腿儿 | 348 | 油壶壶儿 | | |